

情報班のはたらき



平常時	発災時
<ul style="list-style-type: none">① 人々の防災意識の啓発・高揚に関する活動情報の伝達② 広報紙の発行など③ 発災時における被害状況の把握法及びその情報を防災関係機関へ伝達するまでの集約方法の研究と手法の確立（マニュアルの作成など）④ 発災時におけるさまざまな情報の地域住民への伝達方法の研究と確立（マニュアル化）⑤ 情報収集伝達用の各種資機材の整備と保守点検	<ul style="list-style-type: none">①被害抑制、混乱回避、秩序維持等を目的とした各種広報の迅速・的確展開（出火防止、初期消火活動、余震注意、避難指示等）②出火の際の情報伝達、消火活動への協力呼びかけ③被害状況の正確な把握と伝達④避難指示などの防災関係機関からの重要な情報を住民へ確実な周知を行う。⑤給食給水の情報周知⑥救援物資の配布情報の周知
南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」・「巨大地震警戒」	
<ul style="list-style-type: none">①出火防止の緊急呼びかけ②混乱防止、人心安定を目指した正しい対応の広報③問い合わせ等に対する的確な情報の提供	

1. 「南海トラフ地震に関する情報」について

平成29年11月1日から「南海トラフ地震に関する情報」の運用が開始されたことにより、東海地震のみに着目した「東海地震に関する情報」は発表されていないので、注意して下さい。

(1) 「南海トラフ地震に関する情報」の種類及び発表条件

「南海トラフ地震に関する情報」は、以下の2種類の情報名で発表します。

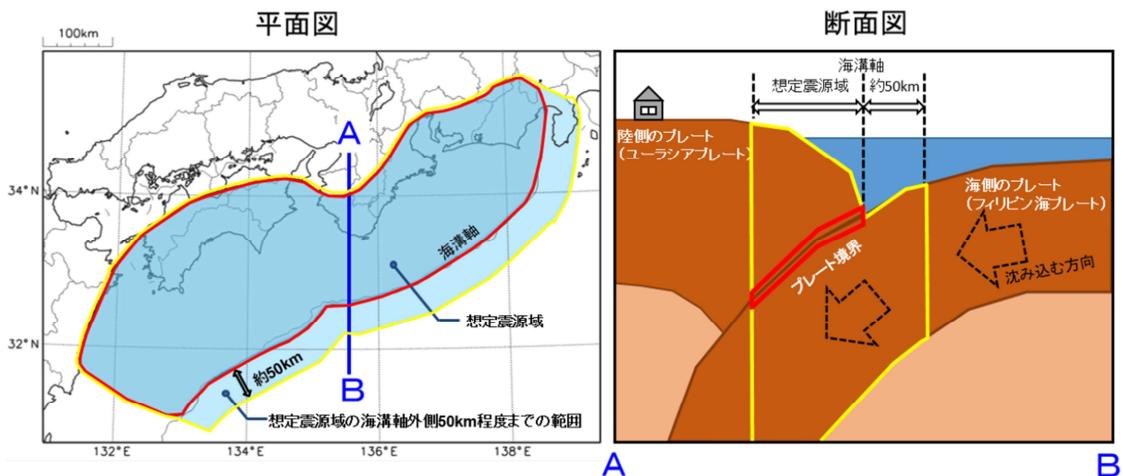
情報名	情報発表条件
南海トラフ地震臨時情報	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ・観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
南海トラフ地震関連解説情報	<ul style="list-style-type: none"> ・観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合 ・「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く） <p>※すでに必要な防災対応がとられている際は、調査を開始した旨や調査結果を南海トラフ地震関連解説情報で発表する場合があります</p>

(2) 「南海トラフ地震臨時情報」に付記するキーワードと付記する条件

情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で情報発表します。

キーワード	各キーワードを付記する条件
調査中	<p>下記のいずれかにより臨時に「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域内（下図黄枠部）でマグニチュード 6.8 以上の地震が発生 ・1カ所以上のひずみ計での有意な変化と共に、他の複数の観測点でもそれに関係すると思われる変化が観測され、想定震源域内のプレート境界（下図赤枠部）で通常と異なるゆっくりすべりが発生している可能性がある場合など、ひずみ計で南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる変化を観測 ・その他、想定震源域内のプレート境界の固着状態の変化を示す可能性のある現象が観測される等、南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる現象を観測
巨大地震警戒	想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード 8.0 以上の地震が発生したと評価した場合
巨大地震注意	・領域内において、モーメントマグニチュード 7.0 以上の

	<p>地震が発生したと評価した場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合
調査終了	<p>（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合</p>



(3)南海トラフ地震臨時情報の受け止め方

- ① 落ち着いてよく聞く
- ② 自分で勝手な判断や推量をしないこと
- ③ それを他人にしゃべらないこと
- ④ 防災関係機関やマスコミ関係に問い合わせの電話をしないこと
- ⑤ 出先の家族、親戚、知人等に電話をしない
- ⑥ すぐに避難行動をとらない
- ⑦ かねて用意の手段に従って、冷静に行動する

南海トラフ地震臨時情報（調査中）、巨大地震注意、巨大地震警戒が発表された場合、ラジオ、テレビ、市防災行政無線、広報車等により広報を開始します。デマなどには惑わされず、正確な情報を聞くようにしましょう。

